

# 令和7年度 トレーナー研究集会 資料集



公益財団法人  
**ボーイスカウト日本連盟**  
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

## ～目 次～

令和7年度トレーナー研究集会にあたって……………	1
--------------------------	---

### 【日本連盟伝達事項】

資料1：令和7年度指導者養成関係事業の主な取り組み報告……………	2
----------------------------------	---

1. 隊・団指導者の必要としている支援の強化を効果的に展開する
2. 指導者の質を高めるため指導者養成体制の充実を図る

資料2：令和8年度指導者養成関係事業の取り組み予定（案）……………	5
-----------------------------------	---

1. 隊・団指導者の必要としている支援の強化を効果的に展開する
2. 指導者訓練の実施
3. 日本連盟トレーニングチームの充実

資料3：実修所「課題研究」「実務訓練」支援の手引きの改定……………	8
-----------------------------------	---

資料4：トレーナー奉仕経験単位表……………	13
-----------------------	----

### 【研究資料】

資料5：令和7年度トレーナー研究集会 研究テーマ……………	15
-------------------------------	----

### 【参考資料】

- ・ 日本連盟トレーナー年齢別一覧（令和8年1月1日現在）…………… 16
- ・ 日本連盟トレーナー内訳グラフ（令和8年1月1日現在）…………… 17
- ・ 令和7年度隊・団指導者上級訓練第二教程  
および成人指導者訓練コース基本訓練履修状況…………… 18
- ・ 加盟登録状況表（令和7年12月31日付）…………… 22

## 令和7年度トレーナー研究集会にあたって

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
ナショナルトレーニングディレクター

藤 田 五 郎

平素より日本連盟トレーニングチームの皆様におかれましては、各種指導者訓練および個別支援等のご奉仕を賜り、厚く御礼を申し上げます。

現代の日本社会は、少子高齢化・人口減少の加速、大規模災害（山火事、台風、地震活動など）の頻発、経済的な不確実性、そしてデジタル化の進展といった複合的な課題に直面しています。

このような不確実な社会だからこそ、ボーイスカウト活動が育む体験を通じて得られる「生きる力」「協働力」「忍耐力」などや「奉仕の精神」の価値は、かつてなく高まっています。

スカウト運動は、社会の変化に対応し、「不確実な社会をたくましく、他者と共に生き抜く力」を育てるという、極めて重要な使命を担っています。私たちトレーナーは、単なる指導者への技術や知識の伝達者に留まらず、「スカウト運動の理念と実践を未来につなぐキーパーソン」としての役割を担っています。

この状況を踏まえ、トレーナーの皆様には、トレーニングにおいて「成長し続ける教育者」「学び続ける支援者」としての姿勢が求められています。

今日のトレーニングにおいては、多様性の時代に即した柔軟な研修方法の開発、参加者の抱える状況に合わせたトレーニングの提供などが挙げられます。そこで、今回の研究集会では、「ボーイスカウト講習会等の修了者へのフォローアップ研修の企画と研究」、そして「ブロック別テーマについての研究」に取り組んでいただきます。これらの研究は、単なる学びではなく、地域での指導者の育成をより確かなものにするための実践的な試みです。トレーナー研究集会での議論や交流を通して、それぞれの地域の課題に即した新しい研修の形を共に考えていくことができることを期待しております。

最後になりましたが、長年にわたり指導者育成を支えてくださった退任されるトレーナーの皆さまには多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。ときに厳しく、しかし常に温かく見守ってくださったそのお姿は、多くのトレーナーの模範であり続けました。退任されることは寂しくもありますが、これまでのご功績に深く感謝申し上げるとともに、今後のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

## 令和7年度指導者養成関係事業の主な取り組み報告

### 1. 隊・団指導者の必要としている支援の強化を効果的に展開する

#### (1) スカウト運動の成人に関する方針等に基づいた訓練体系におけるコース後の評価方法の研究

指導者訓練における指導内容を改善するために、従来のコース中だけの評価ではなく、コース終了後の参加者の経年変化を評価の対象に加えていくことを検討した。今後、経年経過による変化を確認するための評価表の作成を進めていくようにする。

#### (2) 支援強化

##### ①隊指導者の必要としている支援強化

スカウト運動の本質を理解し、ボーイスカウト活動の楽しいプログラム展開をすべての部門において展開できるよう、指導者への支援と指導者自身が必要とされる支援強化を進める。

- ・ 隊指導者定型訓練におけるオンデマンド研修の導入に向けての研究
- ・ 隊指導者基礎訓練の内容の修正と上級訓練の第一教程の改善
- ・ 課題研究への支援方法の研究

##### ② 団組織の強化推進支援

スカウト運動の成人に関する方針に則った団委員会の任務の整理などを全団調査結果や追補資料を活用し、団運営と任務中の支援を理解し、団内指導者への直接的な支援を行えるよう、団委員長への支援強化を進める。

- ・ 団指導者定型訓練におけるオンデマンド研修の導入に向けての研究
- ・ 団委員上級訓練の第一教程の改善
- ・ 課題研究への支援方法の研究

#### (3) 定型訓練の一部モジュール化に向けての研究

e ラーニング併用型ボーイスカウト講習会の実施展開を受けて、実施における参加者への効果と主任講師の報告からモジュール化の効果を検証した。参加者のアンケートや主任講師からの報告を確認し、モジュール化による研修への参加意欲の向上に効果があることが確認できた。今後は、他の定型訓練についてもモジュール化を進めていけるように研究を進める。

#### (4) コミッショナートレーニングの研究と整備

コミッショナーの任務に合わせた研修内容を構築し、任務に合わせた支援を進めることができる能力を向上させるための研修内容を研究した。

- ・ コミッショナー任務別研修（地区、団）のハンドブック修正
- ・ コミッショナー任務別研修の実施後の評価と改善

#### (5) トレーナー資質向上のための育成方法の研究

日本連盟トレーニングチームの役務内容を再確認し、チーム員各々の資質が向上する体制の構築を行う。

- ・ 県連盟ディレクター懇談会・研修会の実施
- ・ トレーナー指導者訓練奉仕点数の変更
- ・ トレーナーコースの研修内容の充実（外部講師の導入、LTCの舎営化）

- ・ 各ブロックにおけるトレーナー育成に向けての課題への研究
- ・ 実修所所長研修の開催（課題研究、実務訓練の内容の研究）

## 2. 指導者の質を高めるため指導者養成体制の充実を図る

### （1）指導者訓練体系に基づく各種訓練の実施（令和7年12月末現在）

令和7年12月現在の定型訓練開設状況は以下の通り。ウッドバッジ実修所、団委員実修所の開設状況は別表参照。

- 1 ボーイスカウト講習会（各地）
- 2 ウッドバッジ研修所 スカウトコース 33コース  
基本型 32コース、一括型 1コース
- 3 ウッドバッジ研修所 課程別研修（一括型開設分を含む）  
BVS課程28回、CS課程29回、BS課程33回、VS課程26回
- 4 団委員研修所（11コース）
- 5 コミッショナーベーシックトレーニング（5コース）
- 6 コミッショナー任務別研修 地区コミッショナー課程（5コース）
- 7 コミッショナー任務別研修 団担当コミッショナー課程（1コース）
- 8 コミッショナー任務別研修 県連盟コミッショナー課程
- 9 ウッドバッジ実修所第二教程（6コース）  
BVS課程1コース、CS課程2コース、BS課程2コース、  
VS課程1コース
- 10 団委員実修所第二教程（1コース）
- 11 ウッドクラフトコース（1コース）
- 12 スキルトレーニングの実施（各地）

### （2）日本連盟トレーニングチームの充実（トレーナー訓練の開設）

参加者が本連盟の訓練方針と訓練体系を理解・受容し、各種の指導者訓練を行う技能を修得することを目的として開設した。リーダートレーナーコースにおいてはトレーナーとして幅広い視野をもつことができるように研修内容を改善した。副リーダートレーナーコースにおいてはウッドバッジ研修所所長・団委員研修所所長としてのセッション運営についての資質の向上を目指したものとした。

#### リーダートレーナーコース第44期

期 間：令和7年10月9日（木）  
～13日（月）

場 所：東京・NYC

履修者：9県連盟10人

#### 副リーダートレーナーコース第69期

期 間：令和7年9月19日（金）  
～23日（火）

場 所：那須野営場

履修者：12県連盟18人

## 令和7年度日本連盟主催指導者訓練開設状況

### 1. ウッドバッジ実修所

課 程	期 数	期 間	場 所	開設担当	履修者
B V S	第 4 9 期	5/3(土)～5/6(火)	キャンプおおさか (大阪府枚方市)	大阪連盟	8 県連盟 17 人
C S	第 1 8 1 期	4/26(土)～4/29(火)	新城・吉川野営場 (愛知県新城市)	愛知連盟	5 県連盟 20 人
	第 1 8 2 期	11/ 1 (土)～11/4(火)	日向野営場 (千葉県山武市)	東京連盟	7 県連盟 21 人
B S	第 2 0 9 期	5/2(金)～5/6(火)	日本連盟 那須野営場 (栃木県那須塩原市)	北海道・東北B 担当：青森県連盟	12 県連盟 32 人
	第 2 1 0 期	5/2(金)～5/6(火)	大阪府立少年自然の家 (大阪府貝塚市)	和歌山連盟	10 県連盟 22 人
V S	第 3 4 期	4/25(金)～4/29(火)	日本連盟 那須野営場 (栃木県那須塩原市)	埼玉県連盟	11 県連盟 18 人

6 コース 3 0 県連盟 1 3 0 人  
(参考：令和6年度：6 コース 2 2 県連盟 1 2 6 人)

### 2. 団委員実修所

期 数	期 間	場 所	開設担当	履修者
第 37 期	11/22(土)～11/24(月)	MOA大仁研修センター (静岡県伊豆の国市)	静岡県連盟	9 県連盟 24 人

1 コース 9 県連盟 2 4 人  
(参考：令和6年度：2 コース 1 5 県連盟 4 1 人)

以上

### 令和8年度指導者養成関係事業の取り組み予定（案）

#### 1. 隊・団指導者の必要としている支援の強化を効果的に展開する

すべての成人指導者が、知識・技能・心構えの向上を目指し、スカウト活動の活性化に繋がる効果的な支援を促進するために、大人の学習特性を踏まえた支援方法や社会の変化に合わせた支援技術の適切な運用を目指し、以下の施策に取り組む。

##### （1）スカウト運動の成人に関する方針等に基づいた訓練体系におけるコース後の評価方法の研究

- ・ コース参加後の経年経過に伴う研修効果の評価方法の研究
- ・ 指導者の更新研修を検討（更新制度）

##### （2）支援強化

###### ① 隊指導者の必要としている支援強化

スカウト運動の本質を理解し、ボーイスカウトにおけるスカウトの参画と自治意識形成につながる楽しいプログラム展開をすべての部門において展開できるよう、指導者への支援と指導者自身が必要としている支援の強化を進める。

- ・ ウッドバッジ研修所課程別研修の内容を検討（スカウトの参画の意識化）
- ・ 『課題研究』『実務訓練』支援の手引き」の活用と検証

###### ② 団組織の強化推進に必要としている支援強化

スカウト運動の本質を理解し、団運営の理解と任務中の支援を理解し、団内指導者への直接的な支援を行えるよう、団委員長への支援強化を進める。

- ・ 団委員研修の内容の検討  
課題研修、課題研究における全団調査の活用方法の研究
- ・ 「『課題研究』『実務訓練』支援の手引き」の活用と検証

##### （3）定型訓練の一部モジュール化に向けての研究

定型訓練、スキルトレーニング等におけるeラーニングを活用した研修内容の導入に向けて、eラーニング化できる内容についての研究を進める。

- ・ 定型訓練におけるセッションのeラーニング、オンライン研修化の研究
- ・ スキルトレーニング用の資料としてのeラーニング教材の研究

##### （4）コミッショナートレーニングの研究と整備

- ・ コミッショナーベーシックトレーニング、任務別研修の改善
- ・ 任務別研修団担当コミッショナー課程の実施評価と改善

##### （5）トレーナー育成のための研究と更新研修の検討

日本連盟トレーニングチームの役務内容を再確認し、チーム員各々の資質が向上する体制の構築を行う。

- ・ トレーナーの育成訓練と更新研修の研究
- ・ 上級訓練における次期所長・主任の育成
- ・ 県連盟ディレクターとの協働
- ・ 外部講師を活用した研修内容の充実（コーチングなど）

## 2. 指導者訓練の実施

指導者訓練体系に基づく各種訓練を実施する。

- 1 ボーイスカウト講習会（eラーニング併用半日型、一日型）
- 2 ウッドバッジ研修所 スカウトコース、課程別研修
- 3 団委員研修所
- 4 コミッショナーベーシックトレーニング、任務別研修
- 5 ウッドバッジ実修所
- 6 団委員実修所
- 7 ウッドクラフトコース
- 8 スキルトレーニングの推進

※ 1～7の開設予定は、日本連盟ホームページに掲載します。

## 3. 日本連盟トレーニングチームの充実

指導者訓練を支えていく日本連盟トレーニングチームの充実を図るために、以下の施策に取り組む。

### （1）日本連盟トレーニングチームの一員としての自覚

リーダートレーナー、副リーダートレーナーの役割を再確認し、トレーニングと支援（サポート）の違いを明確に実践できるトレーナーを育成する。

### （2）各県連盟の協力のもと、トレーナー研究集会の実施

各ブロックや県連盟におけるトレーニングについての課題を解決するために連携をより強め、県連盟間で協力してトレーナーの資質向上と育成を進める。

### （3）県連盟ディレクターとの懇談会の実施

県連盟ディレクターとの最新情報の共有と連携を図る。

### （4）トレーナー訓練の開設

A I Sに基づくこれから必要とされるトレーニング提供のためのトレーナー養成に係るカリキュラムを検討する。

- ・ リーダートレーナーコース第45期
- ・ 副リーダートレーナーコース第70期

### （5）新任トレーナーを養成する

- ・ 新任ALT研修会（東西2会場：令和8年6月予定）

### （6）トレーナー通信の発行

- ・ 全トレーナーへの情報発信と共有を進める。



## 令和8年度日本連盟主催指導者養成事業（訓練・会議）予定一覧

### 1. ウッドバッジ実修所

課 程	期 数	期 間	場 所	開設担当
BVS	第50期	10月9日（金） ～10月12日（月）	日本連盟 高萩 SF （茨城県高萩市）	日本連盟
CS	第183期	9月20日（日） ～9月23日（水）	嬉野台生涯教育センター （兵庫県宍粟市）	兵庫連盟
	第184期	9月20日（日） ～9月23日（水）	福岡県連盟 脇山野営場 （福岡県福岡市）	福岡県連盟
BS	第211期	5月2日（土） ～5月6日（水）	愛知連盟 新城・吉川野営場 （愛知県新城市）	愛知連盟
	第212期	10月30日（金） ～11月3日（火）	東京連盟 日向野営場 （千葉県山武市）	東京連盟
VS	第35期	4月25日（土） ～4月29日（水）	大阪連盟 キャンプおおさか （大阪府枚方市）	大阪連盟

### 2. 団委員実修所

期 数	期 間	場 所	開設担当
第38期	11月27日（金） ～11月29日（日）	新大阪ユースホテル （大阪府大阪市）	日本連盟

### 3. ウッドクラフトコース

期 数	期 間	場 所	開設担当
第7期	11月18日（水） ～11月23日（月）	日本連盟 高萩 SF （茨城県高萩市）	日本連盟

### 4. トレーナーコース

リーダートレーナーコース第45期     10月 8日（木）～10月12日（月）  
近江・希望ヶ丘ユースホテル（滋賀県野洲市）

副リーダートレーナーコース第70期     9月19日（土）～ 9月23日（水）  
愛知連盟 新城・吉川野営場

### 5. 各種会議・研修

#### <令和8年度ディレクター研修会>

令和8年12月12日（土）～13日（日）・・・国立オリンピック記念青少年総合センター

#### <令和8年度ウッドバッジ実修所・団委員実修所 所長研修・所長主任所員会議>

令和9年1月23日（土）～24日（日）・・・国立オリンピック記念青少年総合センター

#### <令和8年度トレーナー研究集会>

令和8年2月7日（日）～2月28日（日）の間

#### <新任ALT研修会>

令和8年6月13日（土）東会場 14日（日）西会場 で開催

以上

## 令和8年度ウッドバッジ実修所及び団委員実修所 「課題研究」「実務訓練」支援の手引き改定について

### 改定主旨

ウッドバッジ実修所及び団委員実修所への参加者がその目的を達成するために、「課題研究」「実務訓練」を身近なトレーナーとコミッショナーが協働して支援いただき、第二教程（基本訓練）との連携を図ることが効果的であることから、これまでのウッドバッジ実修所及び団委員実修所所長・主任所員評価、昨年度の県連盟ディレクター研修会、トレーナー研究集会でのご意見に基づいて次の点について「第一教程」と「支援の手引き」の改定を行いました。

1. 第一教程（課題研究）の課題を見直し、改訂しました。
2. 第二教程（基本訓練）セッションの目標を記載しました。
3. 第三教程（実務訓練）は第二教程履修日から1年以内に報告書を日本連盟事務局へ送付することとし、2年の期限をなくしました。
4. 令和7年度より第三教程（実務訓練）の報告書を実修所所長が確認することとしています。

あらためてウッドバッジ実修所及び団委員実修所の支援にあたっては、「支援の手引き」を熟読してその任にあたってくださいようお願いいたします。

### ウッドバッジ実修所「課題研究」「実務訓練」支援の手引き

ページ	加筆または修正箇所と内容
p. 1	ウッドバッジ実修所実修所の訓練と本書について 中段に（コミッショナーのみなさまへ）を追記
p. 2	I. 参加希望者への支援 1. ウッドバッジ実修所への誘いに（コミッショナー）を追記 2. 実修所のガイダンスに（トレーナー）を追記 3. ウッドバッジ実修所課題研究への取り組み（コミッショナー、トレーナー）を追記 4. 「課題研究」課題の指導の要点とまとめ方（コミッショナー、トレーナー）を追記
p. 2	③ 学習の目標を所員ハンドブックとの整合 1. スカウティングの原理に則ったプログラム展開ができる。 2. ニーズと個人の進歩を考慮した計画、活用ができる。 3. プログラムの評価、改善ができる。 4. 指導者の役割と責務について理解し、隊運営ができる。 5. 保護者及び地域社会に対するアプローチを効果的に実施できる。 6. 野外での体験を通してスカウティングの本質の理解を深めることができる。
	3. ウッドバッジ実修所課題研究への取り組みに（コミッショナー、トレーナー）を追記
p. 4	(1) ビーバースカウト課程 課題1 ① また、調査した方法も書いてください。を追記
p. 5	課題3 自隊の年間プログラムを評価します。隊集会ごとに評価し、を追記
p. 7	(2) カプスカウト課程 課題1 ① また、調査した方法も書いてください。を追記

p. 8	課題3 課題2で示したプロセスと自隊のある月の月間プログラムのプロセスを比較し、問題があれば改善案とその理由を示して下さい。（プログラムプロセスには、 <del>プログラム会議・デン</del> リーダー集会・デンコーチ集会・組長集会・組集会（1回～2回）・隊集会が含まれる。）に修正
p. 8	課題5 （年間プログラムを添付してください）を追記
p. 9	(3) ボーイスカウト課程 課題2 ②自隊で行われているプログラムプロセスを図示してください。を追加
p. 10	課題4 ②課題1 に修正
p. 10	課題5 実際に行われた隊集会1回分について、想定文を含めた計画書を持参するとともに、に修正
p. 12	(4) ベンチャースカウト課程 課題4 ②課題1 に修正
p. 13	5. 「課題研究」の書式 指導者手帳の扱い を修正 6. 第一教程（課題研究）履修認定と手順について フローチャート を記載
p. 14～19	II. 第二教程（基本訓練）履修者への支援 1. 第二教程（基本訓練）セッションの目標 を記載
p. 25	3. 第三教程（実務訓練）履修認定と手順について（手順の変更） 手順1：第二教程（基本訓練）履修者 ② 所感記入後、第二教程履修日から1年以内に報告書を日本連盟事務局へ送付し、所属県連盟へその旨を連絡する。 手順2・3：県連盟事務局・日本連盟事務局 1 所属県連盟は県コミッショナーに日本連盟事務局へ報告書が送付されたことを連絡する。 2 日本連盟事務局は実修所所長に送付する。 手順4：実修所所長 実修所所長は報告書の内容の確認と所見を記入する。その後、日本連盟事務局へ送付する。 手順5・6：日本連盟事務局・県連盟事務局 1 日本連盟事務局は報告書を県連盟事務局に送付する。 2 県連盟事務局は報告書を県コミッショナーに送付し、所見の記入と第三教程履修認定を受ける。 手順7：県コミッショナー 手順8：県連盟事務局 手順9：日本連盟事務局 手順10：県連盟事務局
p. 29	課題研究課題 p. 4～12 に合わせて課題内容を修正
p. 30	実務訓練提出用紙 枠内下段 第二教程履修者の提出先を訂正 第二教程履修日から1年以内に、日本連盟事務局へ提出してください。 〈注意事項〉を変更 3. 提出期限までに、実務訓練報告書を提出してください。（以下削除） することが原則です。第二教程履修日から2ヶ年間経過した場合は、 <del>ウッドバッジ実修所の修子が認定されません。</del>

	<del>（課題研究・基本訓練履修認定は、それぞれ履修日から2年間で失効します。）</del>
p. 32	<p>第三教程（実務訓練）履修認定と手順について 手順改定</p> <p>①実修所所長の確認と所見を＜様式1＞に記入していただきます。</p> <p>手順1：第二教程（基本訓練）履修者</p> <p>② 所感記入後、第二教程履修日から1年以内に報告書を日本連盟事務局へ送付し、所属県連盟へその旨を連絡する。</p> <p>手順2・3：県連盟事務局・日本連盟事務局</p> <p>1 所属県連盟は県コミッショナーに日本連盟事務局へ報告書が送付されたことを連絡する。</p> <p>手順4：実修所所長</p> <p>実修所所長は報告書の内容の確認と所見を記入する。その後、日本連盟事務局へ送付する。</p> <p>手順5・6：日本連盟事務局・県連盟事務局</p> <p>1 日本連盟事務局は報告書を県連盟事務局に送付する。</p> <p>2 県連盟事務局は報告書を県コミッショナーに送付し、所見の記入と第三教程履修認定を受ける。</p> <p>手順7：県コミッショナー</p> <p>報告書に所見を記入し、履修認定（様式1へ署名）を行い、県連盟事務局に返送する。</p> <p>手順8：県連盟事務局</p> <p>県コミッショナー所見と第三教程履修認定署名を確認し、日本連盟事務局へ様式1のコピーを送付する。</p> <p>手順9：日本連盟事務局</p> <p>①県連盟事務局より提出された様式1のコピーに必要な要件が記入されていることを確認し、修了証を交付する。初めて隊指導者上級訓練を修了した者にはウッドバッジ2ビーズ、ギルウェルウォググル、ギルウェルスカーフを同送する。</p> <p>②提出された様式1のコピーは日本連盟で保管する。</p> <p>手順10：県連盟事務局</p> <p>①修了者へ修了証およびウッドバッジ他の伝達をする。</p> <p>②修了者へ報告書・様式1の原本を返却する。</p> <p>③修了者は、今後の自己研鑽のための資料として大切に保管する。</p>
p. 34	実務訓練履修認定手順＜フロー＞ を記載
p. 35	<p>奥付</p> <p>令和7年12月1日一部改定</p> <p>Adults in Scouting (AIS) 委員会 編</p>

#### 団委員実修所「課題研究」「実務訓練」支援の手引き

ページ	加筆または修正箇所と内容
p. 1	<p>団委員実修所の訓練と本書について</p> <p>中段 （コミッショナーのみなさまへ）を追記</p>
p. 2	<p>I. 参加希望者への支援</p> <p>1. ウッドバッジ実修所への誘い（コミッショナー）を追記</p> <p>2. 実修所のガイダンス（トレーナー）を追記</p>
p. 3	<p>3. 団委員実修所課題研究への取り組み（コミッショナー、トレーナー）を追記</p> <p>4. 「課題研究」課題の指導の要点とまとめ方（コミッショナー、トレーナー）を追記</p>

p. 4	課題 1. 全団調査に基づく団診断票の直近 3 年間のデータから、項目ごとに自団の状況について記述してください。 ① 加盟登録数、② 活動、③ 進級、④ 指導者養成、⑤ 組織拡充、⑥ 会議の開催、⑦ 団運営（管理）に改訂
p. 4	課題 2. 日本連盟発行書籍の「団の運営と団委員会」及び「追補資料」（令和 5 年 8 月 31 日発行）、「スカウト運動の成人に関する方針」を精読し、課題 1 の資料をもとに自団団委員会の実状と違うところを列記してください。に追加・修正
p. 5	課題 3. 課題 1 及び課題 2 をもとに、コミッショナーとトレーナーと話し合い、その内容を簡潔にまとめてください。に修正
p. 6	課題 4. 団委員（長）として、解決したい団の課題や問題を列記してください。に修正
p. 6	5. 「課題研究」の書式 指導者手帳の扱いを修正
p. 6～7	6. 第一教程（課題研究）履修認定と手順について フローチャートを記載
p. 8	II. 第二教程（基本訓練）履修者への支援 1. 第二教程（基本訓練）セッションの目標を記載
p. 11	3. 第三教程（実務訓練）履修認定と手順について（手順の変更） 手順 1：第二教程（基本訓練）履修者 ② 所感記入後、第二教程履修日から 1 年以内に報告書を日本連盟事務局へ送付し、所属県連盟へその旨を連絡する。 手順 2・3：県連盟事務局・日本連盟事務局 1 所属県連盟は県コミッショナーに日本連盟事務局へ報告書が送付されたことを連絡する。 2 日本連盟事務局は実修所所長に送付する。 手順 4：実修所所長 実修所所長は報告書の内容の確認と所見を記入する。その後、日本連盟事務局へ送付する。 手順 5・6：日本連盟事務局・県連盟事務局 1 日本連盟事務局は報告書を県連盟事務局に送付する。 2 県連盟事務局は報告書を県コミッショナーに送付し、所見の記入と第三教程履修認定を受ける。 手順 7：県コミッショナー 手順 8：県連盟事務局 手順 9：日本連盟事務局 手順 10：県連盟事務局
p. 13	参考資料 課題研究提出用紙 p. 4～6 に合わせて課題内容を修正
p. 14	実務訓練提出用紙 枠内下段 第二教程履修者の提出先を訂正 第二教程履修日から 1 年以内に、日本連盟事務局へ提出してください。 〈注意事項〉を変更 3. 提出期限までに、実務訓練報告書を提出してください。（以下削除） <del>することが原則です。第二教程履修日から 2 ヶ年間経過した場合は、ウッドバッジ実修所の修子が認定されません。</del>

	<del>（課題研究・基本訓練履修認定は、それぞれ履修日から2年間で失効します。）</del>
p. 16	<p>第三教程（実務訓練）履修認定と手順について 手順改定</p> <p>①実修所所長の確認と所見を＜様式1＞に記入していただきます。</p> <p>手順1：第二教程（基本訓練）履修者</p> <p>② 所感記入後、第二教程履修日から1年以内に報告書を日本連盟事務局へ送付し、所属県連盟へその旨を連絡する。</p> <p>手順2・3：県連盟事務局・日本連盟事務局</p> <p>2 所属県連盟は県コミッショナーに日本連盟事務局へ報告書が送付されたことを連絡する。</p> <p>手順4：実修所所長</p> <p>実修所所長は報告書の内容の確認と所見を記入する。その後、日本連盟事務局へ送付する。</p> <p>手順5・6：日本連盟事務局・県連盟事務局</p> <p>3 日本連盟事務局は報告書を県連盟事務局に送付する。</p> <p>4 県連盟事務局は報告書を県コミッショナーに送付し、所見の記入と第三教程履修認定を受ける。</p> <p>手順7：県コミッショナー</p> <p>報告書に所見を記入し、履修認定（様式1へ署名）を行い、県連盟事務局に返送する。</p> <p>手順8：県連盟事務局</p> <p>県コミッショナー所見と第三教程履修認定署名を確認し、日本連盟事務局へ様式1のコピーを送付する。</p> <p>手順9：日本連盟事務局</p> <p>①県連盟事務局より提出された様式1のコピーに必要な要件が記入されていることを確認し、修了証を交付する。</p> <p>②提出された様式1のコピーは日本連盟で保管する。</p> <p>手順10：県連盟事務局</p> <p>①1 修了者へ修了証を伝達する。</p> <p>②修了者へ報告書・様式1の原本を返却する。</p> <p>③修了者は、今後の自己研鑽のための資料として大切に保管する。</p>
p. 18	実務訓練履修認定手順＜フロー＞ 記載
p. 19	<p>奥付</p> <p>令和7年12月1日一部改定</p> <p>Adults in Scouting (AIS) 委員会 編</p>

## トレーナー奉仕経験単位表（新規推薦時、継続時共通）

## 定型訓練（集合訓練）

訓練名称	役務	単位	備考
ボーイスカウト講習会	主任講師	3	1 日型、半日型共通
	講師	1	1 セッション = 1 ポイント
ウッドバッジ研修所スカウトコース	所長	5	
	所員	4	隊長、QM
	所員	3	セッション担当、班担当、記録、AQM
ウッドバッジ研修所課程別研修	主任講師	3	
	講師	1	1 セッション = 1 ポイント
ウッドバッジ実修所	所長	7	
	主任所員	6	
	QM	6	
	所員	5	班担当、生活担当、記録、AQM
ウッドクラフトコース	コースディレクター	8	
	隊長	7	
	スタッフ	6	隊スタッフ、QM
	スタッフ	5	記録、AQM
団委員研修所	所長	4	
	所員	3	
団委員実修所	所長	6	
	主任所員	5	
	QM	4	
	所員	3	グループ担当、生活担当、記録、AQM
トレーナーコース	コースディレクター	7	
	チーフスタッフ	6	
	スタッフ	5	
コミッショナー ベーシックトレーニング	コースディレクター	5	
	チーフスタッフ、QM	4	
	スタッフ	3	上記以外のスタッフ
コミッショナー任務別研修	主任講師	3	
	スタッフ	2	上記以外のスタッフ

## 個別支援

訓練名称	役務	単位	備考
研修所(WB,団,コミ) 課題研修	主担当/一人につき	2	
任務別研修 課題研修	主担当/一人につき	2	
スキルトレーニング	主担当/一人につき	2	
実修所(WB,団) 第一教程(課題研究)	主担当/一人につき	3	
実修所(WB,団) 第三教程(実務訓練)	主担当/一人につき	4	
ALTC課題研修	主担当/一人につき	3	
ALTC奉仕実績訓練	主担当/一人につき	4	
LTC課題研修	主担当/一人につき	3	
LTC奉仕実績訓練	主担当/一人につき	4	

## 定型外訓練（県連盟、地区等主催で5名以上の参加のあるもの、オンライン方式を含む）

訓練名称	役務	単位	備考
定型外訓練（半日未満）	主任講師	2	
	講師	1	
定型外訓練（1日コース）	主任講師	3	
	講師	2	
定型外訓練（宿泊コース）	主任講師	4	
	講師	3	

### オンライン方式について

- ・オンラインでの研修会については、半日未満の点数を適応する。
- ・eラーニングに使用するオンデマンド教材の開発・実施は、一つの教材について2単位とする。  
（ただし、作成した教材については、県コミッショナー・県連盟ディレクターの承認を受けたものとする。）



**令和7年度トレーナー研究集会 研究テーマ****(研究内容の設定趣旨)**

現在、「新たな100年に向けての挑戦」として第3期中長期計画（2023年度～2032年度）に沿った方針や施策を進めている状況です。その中で、トレーナーが果たすべき役割に「スカウティングを支える成人を増やし支援する取り組み」を推進することが求められています。社会を取り巻く急激な環境の変化やトレーニングに参加する成人の学習特性に合わせたトレーニングを研究していかなければなりません。

そこで、今年度のトレーナー研究集会では「トレーニングへの参加意欲を高める」ために必要なフォローアップ研修の進め方の研究、「安定した継続性のあるトレーニングの提供」のための地域ごとのトレーナー育成などの課題解決に向けての研究について研究することとします。

**テーマ①：「ボーイスカウト講習会参加後のフォローアップ研修の研究」****(研究のポイント)**

- ・ 導入訓練から基本訓練に繋げるために必要な力を研究
- ・ 研修の必要性の実感と参加意欲の向上に繋げる方法の研究
- ・ フォローアップを進めるための支援者としてのあり方の研究

**テーマ②：「ブロック内におけるトレーナーの資質向上のための研究」****(研究のポイント)**

- ・ ブロック内で考えたトレーナーの資質向上のための課題についての研究
- ・ ブロックとしてのトレーナー育成における課題解決のための研究

以 上

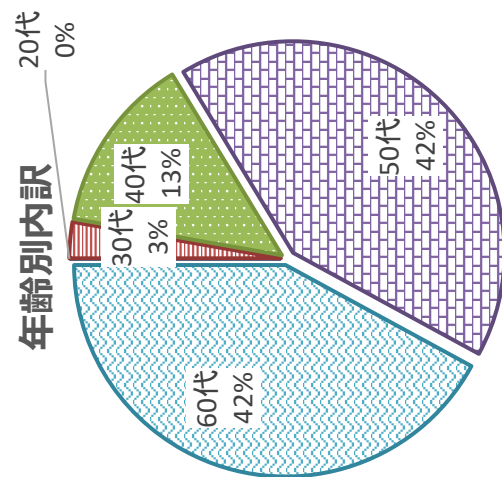
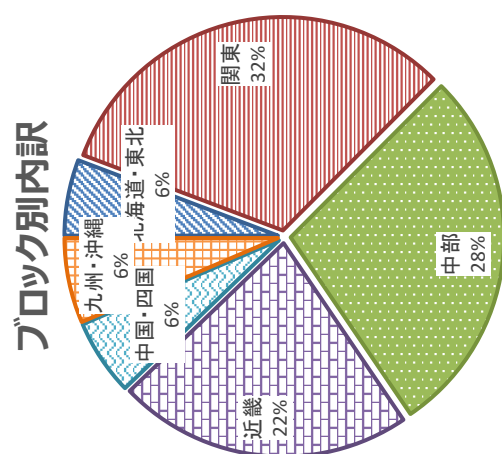
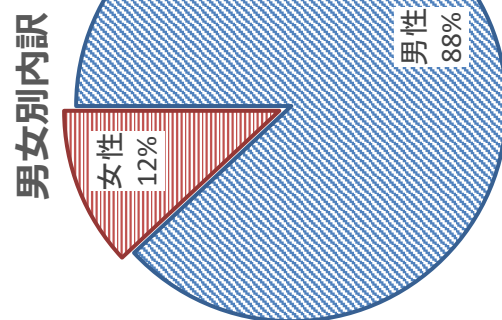
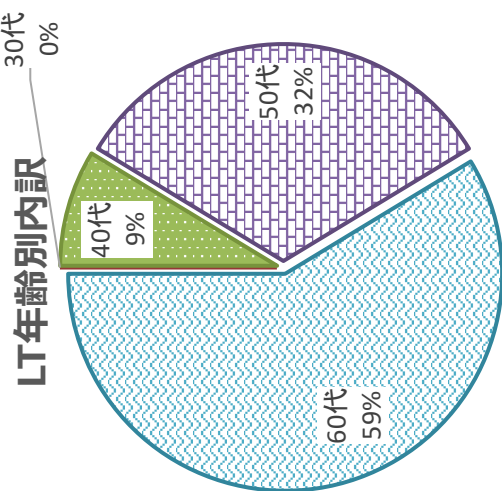
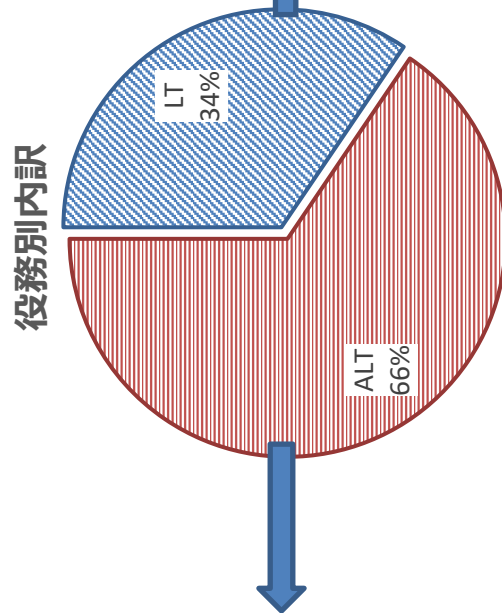
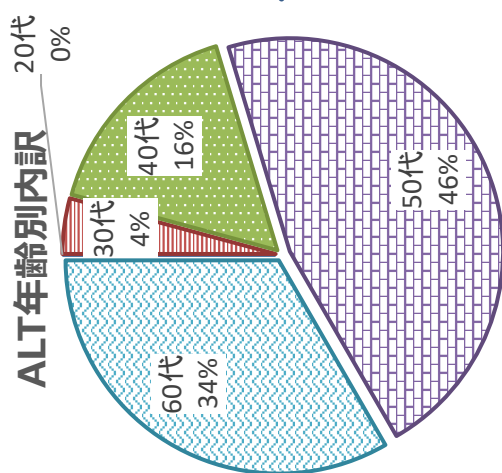
## 【参考資料】

- ・ 日本連盟トレーナー年齢別一覧（令和８年１月１日現在）
- ・ 日本連盟トレーナー内訳グラフ（令和８年１月１日現在）
- ・ 令和７年度隊・団指導者上級訓練第二教程  
および成人指導者訓練コース基本訓練履修状況
- ・ 加盟登録状況表（令和７年１２月３１日現在）

## (単位:人)

- 17 -

# 日本連盟トレーナー内訳グラフ (令和8年1月1日現在) ※休務者を除く



# 令和7年度

## 隊・団指導者上級訓練／成人指導者訓練コース履修状況

(1) 隊指導者上級訓練課程「ウッドバッジ実修所」

2026.1.12 現在

課 程	B V S 課程			C S 課程					
開 設	大阪連盟			愛知連盟			東京連盟		
期 数	第 49 期			第 181 期			第 182 期		
期 間	5/3～5/6			4/26～4/29			10/12～10/15		
場 所	キャンプおおさか			新城・吉川野営場			日向野営場		
所 長	太 田 尚 宏			楡 原 仁			川 口 洋		
主任所員	松 村 知 子			富 永 和 也			田 村 聡 子		
所 員	8 人			8 人			9 人		
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計
北海道									
青 森		1	1						
岩 手									
宮 城									
秋 田									
山 形									
福 島									
茨 城									
栃 木									
群 馬							1		1
埼 玉				1	1	2	1		1
千 葉		1	1				2	1	3
神奈川	1		1				1		1
山 梨									
東 京	3	3	6				9	4	13
新 潟	2		2						
富 山									
石 川									
福 井									
長 野				2		2			
岐 阜		1	1						
静 岡				1		1			
愛 知				12	2	14			
三 重									
滋 賀									
京 都									
兵 庫							1		1
奈 良					1	1			
和歌山									
大 阪	2	2	4						
鳥 取									
島 根									
岡 山									
広 島									
山 口									
徳 島									
香 川							1		1
愛 媛									
高 知									
福 岡		1	1						
佐 賀									
長 崎									
熊 本									
大 分									
宮 崎									
鹿 児 島									
沖 縄									
合 計	8	9	17	16	4	20	16	5	21
	8 県連盟			5 県連盟			7 県連盟		

課 程	B S 課程						V S 課程			小 計			前 年 度 履 修 者 数
開 設	北海道・東北ブロック			和歌山連盟			埼玉県連盟						
期 数	第 209 期			第 210 期			第 34 期						
期 間	5/2～5/6			5/2～5/6			4/25～4/29						
場 所	那須野営場			大阪府立少年自然の家			那須野営場						
所 長	鈴 木 昌 子			高 崎 浩太郎			高 橋 聖						
主任所員	石 原 拓 也			智 原 正 志			久 原 宗 仁						
所 員	10 人			9 人			9 人						
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
北海道													
青 森											1	1	
岩 手	1		1							1		1	
宮 城							2		2	2		2	
秋 田		1	1								1	1	
山 形	2		2							2		2	
福 島	2		2							2		2	
茨 城	1		1							1		1	
栃 木	1	1	2				1		1	2	1	3	
群 馬										1		1	
埼 玉	1		1				1	1	2	4	2	6	
千 葉							1		1	3	2	5	
神奈川	4		4				2	1	3	8	1	9	
山 梨													
東 京	12		12				2	1	3	26	8	34	
新 潟										2		2	
富 山				1		1	1		1	2		2	
石 川													
福 井													
長 野										2		2	
岐 阜											1	1	
静 岡		1	1							1	1	2	
愛 知	3	1	4	5	1	6	1		1	21	4	25	
三 重													
滋 賀				1		1				1		1	
京 都							2		2	2		2	
兵 庫				2		2	1		1	4		4	
奈 良				1		1				1	1	2	
和歌山				1		1				1		1	
大 阪				1		1				3	2	5	
鳥 取													
島 根													
岡 山													
広 島													
山 口													
徳 島													
香 川										1		1	
愛 媛				1	3	4				1	3	4	
高 知													
福 岡	1		1				1		1	2	1	3	
佐 賀				4		4				4		4	
長 崎													
熊 本													
大 分				1		1				1		1	
宮 崎													
鹿 児 島													
沖 縄													
合 計	28	4	32	18	4	22	15	3	18	101	29	130	
	12 県連盟			10 県連盟			11 県連盟			30 県連盟			

(2) 団指導者上級訓練課程「団委員実修所」 (3) ウッドクラフトコース

開 設	静岡県連盟			前 年 度 履 修 者 数
期 数	第 37 期			
期 間	11/22～11/24			
場 所	MOA大仁研修センター			
所 長	藤 田 俊 郎			
主任所員				
所 員	8 人			
履修者	男	女	計	
北海道				
青 森				
岩 手				
宮 城				2
秋 田				
山 形				
福 島				
茨 城				
栃 木				
群 馬				10
埼 玉	1		1	2
千 葉	1		1	
神奈川	2		2	4
山 梨				
東 京	5		5	2
新 潟				2
富 山				
石 川				1
福 井				1
長 野	1		1	
岐 阜				9
静 岡	8		8	1
愛 知	2		2	2
三 重				
滋 賀				
京 都				1
兵 庫	2	1	3	2
奈 良				
和歌山				1
大 阪				1
鳥 取				
島 根				
岡 山				
広 島				
山 口	1		1	
徳 島				
香 川				
愛 媛				
高 知				
福 岡				
佐 賀				
長 崎				
熊 本				
大 分				
宮 崎				
鹿児島				
沖 縄				
合計	23	1	24	41
	9 県連盟			

開 設	日本連盟			前 年 度 履 修 者 数
期 数	第 6 期			
期 間	10/30～11/4			
場 所	那須野営場			
C D	藤 田 五 郎			
隊長	堀 内 正 治			
所 員	9 人			
履修者	男	女	計	
北海道				
青 森				
岩 手	1		1	
宮 城				
秋 田				
山 形	1		1	
福 島				
茨 城				
栃 木				
群 馬				
埼 玉				1
千 葉	1		1	
神奈川	1		1	
山 梨				1
東 京	3	1	4	4
新 潟				
富 山	1		1	
石 川				
福 井				2
長 野				
岐 阜		2	2	
静 岡				
愛 知				
三 重				
滋 賀				
京 都				
兵 庫				3
奈 良				
和歌山				
大 阪		2	2	2
鳥 取				1
島 根				
岡 山				
広 島				
山 口	1		1	1
徳 島				
香 川				
愛 媛				
高 知				
福 岡				6
佐 賀				1
長 崎				
熊 本				
大 分				
宮 崎				
鹿児島				
沖 縄				
合計	9	5	14	22
	9 県連盟			

## (4) 成人指導者訓練コース

コース名	副リーダートレーナーコース			リーダートレーナーコース			小 計			前 年 度 履 修 者 数
期 数	第 69 期			第 44 期						
期 間	9/19～9/23			10/9～10/13						
場 所	那須野営場			国立オリンピック記念 青少年総合センター						
C D	坂 口 亮 二			藤 田 五 郎						
C S	安 居 祐 治			脇 田 大 輔						
所 員	8 人			7 人						
履修者	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
北海道										
青 森										
岩 手										
宮 城										
秋 田										
山 形										
福 島										
茨 城										
栃 木				1		1	1		1	1
群 馬										
埼 玉										
千 葉		1	1					1	1	2
神奈川	3		3	1		1	4		4	4
山 梨										
東 京	3		3	1		1	4		4	4
新 潟										
富 山										
石 川										
福 井										
長 野										
岐 阜										
静 岡	1		1		1	1	1	1	2	3
愛 知	2		2	2		2	4		4	4
三 重										
滋 賀										
京 都		1	1		1	1		2	2	4
兵 庫	2		2	1		1	3		3	3
奈 良	1	1	2				1	1	2	3
和歌山										
大 阪	1		1	1		1	2		2	2
鳥 取										
島 根										
岡 山										
広 島										
山 口										
徳 島										
香 川										
愛 媛										
高 知										
福 岡										
佐 賀	1		1				1		1	1
長 崎										
熊 本	1		1				1		1	1
大 分										
宮 崎										
鹿 児 島				1		1	1		1	1
沖 縄										
合計	15	3	18	8	2	10	23	5	28	33
	11 県連盟			9 県連盟			13 県連盟			



# 加盟登録状況表

令和7年12月31日現在

	現在数	前年同月末	増 減	前年同月比	前年度末数	増 減	前年度比
加盟員総数	71,082	74,110	-3,028	95.91%	74,437	-3,355	95.49%
スカウト数	40,680	42,448	-1,768	95.83%	42,742	-2,062	95.18%
ビーバースカウト数	5,946	6,417	-471	92.66%	6,609	-663	89.97%
カブスカウト数	12,859	13,601	-742	94.54%	13,672	-813	94.05%
ボーイスカウト数	11,341	11,429	-88	99.23%	11,440	-99	99.13%
ベンチャースカウト数	4,806	5,151	-345	93.30%	5,159	-353	93.16%
ローバースカウト数	5,728	5,850	-122	97.91%	5,862	-134	97.71%
指導者数	17,597	18,374	-777	95.77%	18,389	-792	95.69%
ビーバー隊指導者数	3,325	3,535	-210	94.06%	3,555	-230	93.53%
カブ隊指導者数	6,052	6,351	-299	95.29%	6,351	-299	95.29%
ボーイ隊指導者数	4,636	4,686	-50	98.93%	4,682	-46	99.02%
ベンチャー隊指導者数	2,146	2,286	-140	93.88%	2,283	-137	94.00%
ローバー隊指導者数	1,438	1,516	-78	94.85%	1,518	-80	94.73%
団委員数	12,110	12,572	-462	96.33%	12,584	-474	96.23%
役職員数	332	340	-8	97.65%	344	-12	96.51%
スカウトクラブ会員数	363	376	-13	96.54%	378	-15	96.03%
女子加盟員数	21,401	21,994	-593	97.30%	22,082	-681	96.92%
女子スカウト数	12,230	12,519	-289	97.69%	12,596	-366	97.09%
女子指導者数	6,156	6,365	-209	96.72%	6,374	-218	96.58%
女子団委員等数	3,015	3,110	-95	96.95%	3,112	-97	96.88%
団 数	1,581	1,629	-48	97.05%	1,629	-48	97.05%
継続団	1,578	1,621	-43	97.35%	1,621	-43	97.35%
新設団	3	6	-3	50.00%	6	-3	50.00%
復活団	0	2	-2		2	-2	
継続未了団	51	71	-20	71.83%	71	-20	71.83%
隊 数	6,359	6,612	-253	96.17%	6,624	-265	96.00%
継続隊	6,157	6,370	-213	96.66%	6,377	-220	96.55%
新設隊	17	27	-10	62.96%	27	-10	62.96%
復活隊	185	215	-30	86.05%	220	-35	84.09%
ビーバー隊数	1,202	1,250	-48	96.16%	1,256	-54	95.70%
カブ隊数	1,406	1,470	-64	95.65%	1,473	-67	95.45%
ボーイ隊数	1,432	1,473	-41	97.22%	1,473	-41	97.22%
ベンチャー隊数	1,224	1,294	-70	94.59%	1,295	-71	94.52%
ローバー隊数	1,095	1,125	-30	97.33%	1,127	-32	97.16%
スカウトクラブ数	101	100	1	101.00%	100	1	101.00%

令和7年度トレーナー研究集会資料集

---

令和8年1月15日発行



公益財団法人  
**ボーイスカウト日本連盟**  
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022

東京都杉並区下井草4-4-3

電話 : 03-6913-6262(代表)

FAX : 03-6913-6263

E-mail : [saj-trainers@scout.or.jp](mailto:saj-trainers@scout.or.jp)

---